第2回 コロキウムのお知らせ

糖鎖生命システム融合研究所

本研究所では生命科学分野と情報科学分野の融合研究を行うことによって、
糖鎖が関わる生命現象の本質の理解を目指しています。
様々な分野の専門家が所属する本研究所では、研究の相互理解を深めるため
勉強会を開催する運びとなりました。
多くの理工学部の先生方および学生の皆様にもご参加いただき、
本研究所の研究を知っていただく機会になればと存じます。

日時：11 月 12 日（金）16:35−18:05

開催方法：オンライン開催

「2次元平面上を移動するマルチエージェントモデルによる感染シミュレーション」

畝見 達夫 先生

新型コロナウイルスの世界的流行を受け、昨年度よりマルチエージェントモデルに基づく感染シミュレータを開発した。
並列アルゴリズムと16台のコンピュータを連携させたシステムの導入により、例えば、100万個体で１日を12ステップとして1年間分のシミュレーションを100回実行する程度の規模のシミュレーション実験を可能とした。モデル、アルゴリズム、実験結果の概要について紹介する。

「A 型インフルエンザウイルスに対する糖鎖分子レセプターの多様性と宿主域」

高瀬 明 先生

A 型インフルエンザウイルスはウイルス表面タンパク質ヘマグルチニンを介して細胞表面のシアル酸含有糖鎖に結合し感染が始まる。しかし、細胞表面のシアル酸含有糖鎖は複雑且つ多様で、インフルエンザウイルス感染において、どのような構造の糖鎖分子がレセプターとして利用されるかは明確でない A 型インフルエンザウイルスに対する糖鎖分子レセプターの多様性と宿主域について、我々の研究成果と最近の研究動向を紹介する。

メールアドレスの★を半角@に変えてください

問い合わせ先
伊藤和義：kazuyoshi★soka-u.jp
研究所 HP：https://www.soka.ac.jp/glycan/